

4 共通評価項目

評価対象 福祉サービスの基本方針と組織

- 1 理念・基本方針

- 1 (1)	理念、基本方針が確立されている。
- 1 (1)	理念が明文化されている。
<p>評価結果 C</p> <p>・本評価を受けるにあたり、今年度になって短期間に明文化したもので、職員や利用者への周知は不十分である。しかしよく考えられたうえで作成されたことは理解できるので、今後の取り組みに期待したい。</p>	
- 1 (1)	理念に基づく基本方針が明文化されている。
<p>評価結果 B</p> <p>・保育課程の中の「保育理念」として、「子ども一人一人の発達を促し、保護者から信頼され、地域から愛される保育園」とあり、理念・方針・計画が一貫性のあるものとして保育経営が確立されることを期待したい。</p>	
- 1 (2)	理念や基本方針が周知されている。
- 1 (2)	理念や基本方針が職員に周知されている。
<p>評価結果 C</p> <p>・理念や方針、計画が1本の柱として枝葉ができるので、時間をかけて全職員の意思統一を図り、園の経営や運営の充実に向けて邁進されることを期待したい。</p>	
- 1 (2)	理念や基本方針が利用者等に周知されている。
<p>評価結果 C</p> <p>・管理者としてのメッセージを「園だより」等で利用者 に徹底すれば、利用者（親）も安心して子どもを預けられるものとする。</p>	

総合評価 C

- ・理念や方針を明確にし、園経営の柱として構築され、市全体の先駆的役割と質の高い保育園の継続を期待したい。
- ・いくつもある方針を整合されて、職員が一丸となる目的を持った方針で園経営を行ない、保護者も社会も「なるほど・・・」と認識される社会資源の位置づけになることを期待したい。
- ・一般に配布されるパンフレットやホームページの中に、理念・方針から抜粋したものを記載し、PRすることもお勧めしたい。また理念・方針等は、掲示のみならず園内会議・個別面談等で常に確認しあい、職員に意識づけされることによってさらに効果があがると思う。

- 2 計画の策定

- 2 (1)	中・長期的なビジョンと計画が明確にされている。
- 2 (1)	中・長期計画が策定されている。
評価結果 -	
- 2 (1)	中・長期計画を踏まえた事業計画が策定されている。
評価結果 -	
- 2 (2)	計画が適切に策定されている。
- 2 (2)	計画の策定が組織的に行われている。
評価結果 C	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画の策定にあたっては、全職員の参画が望ましい。 ・各計画策定においては、評価を実施することによって、新たな課題の発掘もでき、また計画達成後の充実感で次の計画策定へと邁進できるものとする。 	
- 2 (2)	計画が職員や利用者に周知されている。
評価結果 B	
<ul style="list-style-type: none"> ・計画づくりが職員全体で検討されていない。「理念 方針 各計画」のプロセスを踏まえ、職員全体で取り組めば、「保育園の質の向上」につながると考える。 	

総合評価 B

・計画と名のつくものは、保育計画・指導計画・事業計画・行事計画・研修計画・消防計画等あるが、例えば、指導計画は「保育の目的達成のために、保育の基本となる保育課程を編成するとともに、これを具体化して指導計画を作成しなければならない。」と思われる。全ての子どもが安定した生活を送り、充実した活動ができるように、柔軟で発展的なものとして一貫性のものとなるよう配慮することが重要と考える。

・計画の策定にあたっては、全職員の参画が望ましい。

・各計画策定においては、評価を実施することによって、新たな課題の発掘もでき、また計画達成後の充実感で次の計画策定へと邁進できるものとする。

- 3 管理者の責任とリーダーシップ

- 3 (1)	管理者の責任が明確にされている。
- 3 (1)	管理者自らの役割と責任を職員に対して表明している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者としての責任感は十分うかがえる。業務多忙であるが、もう少し大局的な立場で、高所から全体を見る余裕の時間を見つけ出す方策を検討されたい。他の園長先生とワーキングチーム等をつくり、PDCA の手法を活用した業務多忙（過多）解決策についても一考されたい。 	
- 3 (1)	遵守すべき法令等を正しく理解するための取り組みを行っている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育関係の法令等は 5 0 種類ほどあるが、市と協議のうえリスト化し、園で必要なものを整備されたい。 	
- 3 (2)	管理者のリーダーシップが発揮されている。
- 3 (2)	質の向上に意欲を持ちその取り組みに指導力を発揮している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「質の向上」のために何をすべきか不明確で、新保育所保育指針を参考にされて取り組まれたい。 	
- 3 (2)	経営や業務の効率化と改善に向けた取り組みに指導力を発揮している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・節水や節電などコストバランスの積極的な取り組みがなされている。 ・水曜日と金曜日はノー残業デーとして設定している。 ・保育指針に明記の「保育サービスの質の向上」を積極的に取り入れようとしている。 	

<p>総合評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・管理者として園全体の責任感や職員への思いやり、保育児への愛情等は十分理解できる。全て自分が責任を背負う姿勢も見受けられるので、組織の中で管理者としての余裕を持つ方策の模索及び組織・職務分掌等を再検討されることを望みたい。 ・管理者としてリーダーシップを発揮し、指導されている。ただし考え方の表明、職責・方針等を入園式や卒園式、保護者会、園だより等で幅広く伝えていくことが大切だと思う。 ・法令のリスト化、残業の減、会議時間の短縮などの工夫や合理化、省力化が、「保育園のサービスの質の向上」に繋がり、職員個人の生活の質の向上にも結びついていくことを期待したい。 ・業務の改善効率化の手法として、SDCA（日常管理）やPDCA（業務の改善）の活用も参考にされ、取り組まれることを期待したい。 	
---	--

評価対象 組織の運営管理

- 1 経営状況の把握

- 1 (1)	経営環境の変化等に適切に対応している。
- 1 (1)	事業経営をとりまく環境が的確に把握されている。
評価結果 -	
- 1 (1)	経営状況を分析して改善すべき課題を発見する取り組みを行っている。
評価結果 -	
- 1 (1)	外部監査が実施されている。
評価結果 -	

総合評価 -	
--------	--

- 2 人材の確保・養成

- 2 (1)	人事管理の体制が整備されている。
- 2 (1)	必要な人材に関する具体的なプランが確立している。
評価結果 -	
- 2 (1)	人事考課が客観的な基準に基づいて行われている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課は客観的な基準に基づいて、公平性、透明性のなかで行われている。人事考課は「差」をつけるための手段ではなく、個人の現状を一定の基準に従って把握し、個々の意欲を喚起し組織の活性化につなげることを認識した手法であることを、全職員が共有して、職員の質の向上へ結びつけることを期待したい。 	
- 2 (2)	職員の就業状況に配慮がなされている。
- 2 (2)	職員の就業状況や意向を把握し必要があれば改善する仕組みが構築されている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・残業を減らす努力をされたい。 	
- 2 (2)	福利厚生事業に積極的に取り組んでいる。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・時間外勤務を減らすことや会議時間の短縮等に努めながら、「働きやすい環境づくり」にも目を向けて取り組まれることを期待したい。 	
- 2 (3)	職員の質の向上に向けた体制が確立されている。
- 2 (3)	職員の教育・研修に関する基本姿勢が明示されている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・面談等で質の向上に心がけているが、「質の向上」のために、何をどうすべきかが不明確である。 ・SDCAやPDCAサイクルで、課題の発掘と分析を繰り返し、質の向上に向けて努力されることを期待したい。 	

- 2 (3)	個別の職員に対して組織としての教育・研修計画が策定され、計画に基づいて具体的な取り組みが十分に行われている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々の管理シートの活用で、具体的な課題を出して、職員の質のレベルアップに向けて取り組まれることを期待したい。 	
- 2 (3)	定期的に個別の教育・研修計画の評価・見直しを行っている。
<p>評価結果 C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・研修のための研修ではなく、園の質の向上のための目的意識をもった研修に留意し、有効活用を図って研修成果をあげられたい。 	
- 2 (4)	実習生の受け入れが適切に行われている。
- 2 (4)	実習生の受け入れに対する基本的な姿勢を明確にし体制を整備している。
<p>評価結果 C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつ、だれが、どこで、何を、どうするか」という実習生受け入れについてのマニュアルを作成されたい。 	
- 2 (4)	実習生の育成について積極的な取り組みを行っている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園は社会資源であり、将来の保育士を育成する使命がある。このことを自覚し、プログラムや実習計画の作成に取り組まれたい。 	

<p>総合評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人事考課は、客観性・公平性・透明性の中で実施されている。人事考課は「差」をつける手段ではなく、個人の現状を一定の基準に従って把握し、個々の意欲を喚起し組織の活性化につなげることを認識した手法であることを、全職員が共有して、職員の質の向上へと結びつけていくことが大事である ・就業状況の把握は管理者が行なっている。時間外労働がかなり多いと見受けられるので、業務の効率改善・省力化・見直しに向けて、職員全体の課題として取り組まれることを期待したい。 ・管理者が面談等で、質の向上のために取り組んでいる。 ・研修については、目的意識と研修後のあり方について検討をお願いしたい。 ・人材確保・養成・実習者受け入れ等のマニュアルを作成することで、より効果的なものになると思う。 	
--	--

- 3 安全管理

- 3(1)	利用者の安全を確保するための取り組みが行われている。
- 3(1)	緊急時（事故、感染症の発生時等）の対応など利用者の安全確保のための体制が整備されている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保は「最も基本的なサービスの質を保証する」という自覚を、再度全職員で確認してほしい。 	
- 3(1)	利用者の安全確保のためにリスクを把握し対策を実行している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「いつ、誰が、どこで、何を、どうしたか」のチェック表で、年間を通しての「ヒヤリハット」を集計し、数の多い件数から内容を分析・解決していけば、さらに「安全、安心」な施設になる。その意識を全職員が自覚されたい。 	

<p>総合評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・安全確保は、保育園の最も「基本的なサービスの質の保証するもの」で、保育園内外の突発事故や事件等のリスクが予想されるすべてに対するマニュアルの作成が必要と考える。必要なものは整備されているが、安全確保に対する再点検を実施されたい。 ・組織としての園児の安全を脅かす事例の収集「ヒヤリハット」(いつ・誰が、どこで、何を、どうしたか)で、年間統計の中から課題を分析し、安全を脅かすことのない環境整備を図られたい。 	
---	--

- 4 地域との交流と連携

- 4 (1)	地域との関係が適切に確保されている。
- 4 (1)	利用者と地域とのかかわりを大切にしている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「園だより」を近隣自治会に配布したり、消防訓練日を回覧で知らせるなど、日常の「つきあい」のなかで、住民の視線が園に向けられ、常に見守ってもらえるような工夫を考えられたい。 	
- 4 (1)	事業所が有する機能を地域に還元している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・伝統があるので、園の存在は周知されているが、もっと「子育て支援」をPRされて、今以上に園の存在を知ってもらい、さらに高める努力をされたい。 	
- 4 (1)	ボランティアの受け入れに対する基本姿勢を明確にし体制を確立している。
<p>評価結果 C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランティアの受け入れ目的を明確にし、近隣社会に情報発信したり、市社会福祉協議会を通して積極的に受け入れる努力をされたい。 	
- 4 (2)	関係機関との連携が確保されている。
- 4 (2)	必要な社会資源を明確にしている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関の機能を把握し、問題や課題が発生した場合に、すぐに対応できるように、「どの場合に、どの機関に連絡するのか」を体系的に明示するとともに職員全体で共有化されたい。 	
- 4 (2)	関係機関等との連携が適切に行われている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関や団体とケース検討会を開催するなど、園として主体的にかつ定期的に連携の機会を確保できるネットワーク化に取り組まれたい。 	

- 4 (3)	地域の福祉向上のための取り組みを行っている。
- 4 (3)	地域の福祉ニーズを把握している。
<p>評価結果 C</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の業務が多忙なこともあり、福祉ニーズの把握について受身的な面が見られる。しかし当園は市全体の保育所をリードできる力があるので、今後の取り組みに期待したい。 	
- 4 (3)	地域の福祉ニーズに基づく事業・活動が行われている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「育児講座」の年5回開催は評価できる。園外での育児講座開催も取り入れてほしい。ただし開催の目的を明確にするとともに課題を分析し、評価を行ないながら、さらなるレベルアップを期待したい。 	

<p>総合評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歴史のある施設であり地域には周知されている。積極的な育児講座の開催や園外活動を通して存在をPRしている。 ・関係機関との連携は密にされているが、連絡・調整等の明文化で職員の共有化を期待したい。 ・社会資源の一つとしての自覚は十分感じられ、「子どもの最善の利益を積極的に増進することに最もふさわしい生活の場」としての丸の内保育園であることは確認できた。 	
--	--

評価対象 適切な福祉サービスの実施

- 1 利用者本位の福祉サービス

- 1 (1)	利用者を尊重する姿勢が明示されている。
- 1 (1)	利用者を尊重したサービス提供について共通の理解をもつための取り組みを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人一人の発達を促し、保護者から信頼され、地域から愛される保育園づくりを達成するために、園内研究会を実施し、詳細に記録されている。 ・12月に保護者を対象に行なった「園と共に子どもをよりよく育てていくためのアンケート」の中に、「職員が園児にとっても優しく、園児たちがのびのびと活動できている点が良い」といった声も多くあり、全職員が一丸となって基本姿勢を意識した保育に取り組んでいる。 	
- 1 (1)	利用者のプライバシー保護に関する規程・マニュアル等を整備している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プライバシー保護の必要な関係書類については、鍵のかかる場所に保管し、持ち出すときは園長の許可を得るなどの管理が徹底されている。 ・全職員が、市の個人情報保護条例及び情報セキュリティポリシーに基づいたプライバシー保護に努めている。 	
- 1 (2)	利用者満足の向上に努めている。
- 1 (2)	利用者満足の向上を意図した仕組みを整備している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月に「園と共に子どもをよりよく育てていくためのアンケート」を実施し、「集団生活の中で社交性や協調性が養われている」、「子どもも先生も一生懸命取り組んでいるということが保護者にもよく伝わってくる」などの保護者の声から信頼されている姿がうかがわれた。 	
- 1 (2)	利用者満足の向上に向けた取り組みを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・朝夕の送迎時には、保護者と接する機会をつくり、安心して保護者が利用できるように信頼関係の構築に努めている。 ・保護者からの意見は、行事ごとに一口メモに書いてもらい、職員会等で報告のうえ保存している。 ・試食会の際の声では、「いつも料理をすることが大切だと思った。あらためて食事の大切さを感じた」、作品展では「カラフルで楽しい作品を素敵に飾ってもらい、娘のうれしそうな様子に親もうれしくなった」など、保護者が満足して子どもを預けている姿がうかがえた。 	

- 1 (3)	利用者が意見等を述べやすい体制が確保されている。
- 1 (3)	利用者が相談や意見を述べやすい環境を整備している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育園の雰囲気は明るく、職員は笑顔で対応されており、この雰囲気の中で保護者も気軽に相談や意見が述べられる様子がうかがえた。 	
- 1 (3)	苦情解決の仕組みが確立され十分に周知・機能している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 市役所から出されている一般職員用のマニュアルがあるが、園独自のものを作成し、記録している。 ・ 社会福祉法第 8 2 条に基づき、苦情解決責任者や担当者、第三者委員名は表示してあるが、苦情解決会議が実施されていないので、今後苦情解決の仕組みを確立し、周知に努められたい。 	
- 1 (3)	利用者からの意見等に対して迅速に対応している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現在、保護者からの苦情はなく、意見や要望は保護者の意図を十分に留意し、必要に応じ担任や主任、園長が対応している。 ・ 保護者から行事ごとに寄せられる感想等は、職員会で報告され、報告-連絡-相談-対応が迅速になされている。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 朝夕の送迎時には、積極的に保護者と接する時間を作り、相談しやすい雰囲気を常に心がけ、「保護者から信頼され、地域から愛される保育園づくり」を達成するための取り組みをすすめている。 ・ 気にかかる保護者にはこちらから意図的に声をかけ、気軽に相談できる雰囲気をつくり、また、行事ごとに保護者の声を聞くなど、速やかに対応している。 ・ 社会福祉法第 8 2 条に基づき、苦情解決責任者や担当者、第三者委員名は表示してあるが、苦情解決会議が実施されていないので、今後苦情解決の仕組みを確立され、周知に努められたい。 	
--	--

- 2 サービスの質の確保

- 2 (1)	質の向上に向けた取り組みが組織的に行われている。
- 2 (1)	サービス内容について定期的に評価を行う体制を整備している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の研究会で、研究主題「心豊かにたくましく生きる子の育成」をもとに研究し、今年度は「3歳児の領域」に取り組み、詳細に記録されている。 ・園内では「子ども一人ひとりの育ちを捉える視点」や「職員一人一人の意欲の向上のための課題」を目標に掲げ、保育士から問題提起された事柄については、年度を4期に分け研究討議されている。 	
- 2 (1)	評価の結果に基づき組織として取り組むべき課題を明確にしている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・12月実施の保護者向けアンケートに対し、すぐに対応できることは職員会で検討・実施し、時間のかかることについては、今後の課題として取り組んでいくこととしていたが、今回のアンケートからは改善項目がなく、好意的な意見が多かった。 	
- 2 (1)	課題に対する改善策・改善計画を立て実施している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育サービスの課題は、そのつど問題を掘り下げ議論することが少なく、職員からの提起や発言も少ないように見受けられるが、一人ひとりの問題意識は高いので、改善策や改善計画を具体的に立て、解決につなげていく取り組みを期待したい。 	
- 2 (2)	個々のサービスの標準的な実施方法が確立している。
- 2 (2)	個々のサービスについて標準的な実施方法が文書化されサービスが提供されている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・玄関の壁に延長保育児の保育活動が、誰にでも分かりやすく明示されているなど、保育活動の場面ごとに標準的なマニュアルが整備され、一人ひとりの発達への記録が細かく記載されている。 	

- 2 (2)	標準的な実施方法について見直しをする仕組みが確立している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の個人目標管理シートがあり、業務目標が設定されている。管理面も各自 2 年間を通し、評価基準に沿って、達成状況が細部にわたり記載されている。 ・保育内容については、幼保一元化に沿うよう記録の仕方を統一し、幼稚園・保育園それぞれの園児の記録にばらつきがないように幼保一本化し、その記録方法の研修会を実施している。 	
- 2 (3)	サービス実施の記録が適切に行われている。
- 2 (3)	利用者に関するサービス実施状況の記録が適切に行われている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年案、月案、週案、発達の記録等は、園長と主任が点検し、一人ひとりの子どもの発達への願いや発達の記録が、詳細に記載されている。 ・研修会や職員会を通し、園児個々の成長や保育状況、園での安全に対する管理など細かく記載され、職員間で共有化に努めている。 	
- 2 (3)	利用者に関する記録の管理体制が確立している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児に対する諸記録や個人情報 は絶対に外部に持ち出さない、保管は必ず施錠可能なところで行なうという規程が定められ、またマニュアルに沿って守秘義務の遵守についても徹底されている。 ・研修会や職員会を通して、個人情報保護や守秘義務について討議し、適切に管理されている。 	
- 2 (3)	利用者の状況等に関する情報を職員間で共有化している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・午前のパート職員が事例研修会に参加することは難しいため、口頭や文書で連絡している。 ・園内研修会で、一人ひとりの子どもの発達や生活状況について、問題が生じた場合は、職員会で定期的に問題提起され、共通理解に努めている。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日々の保育サービスに関する自己評価等の必要性は認識され、随時検討しているが、職員からの提起や発言が少ないように見受けられる。一人ひとりの問題意識は高いので、改善策や改善計画を全員で具体的に立て、解決につなげていく取り組みを期待したい。 ・一人ひとりの発達状況や保育目標については、保育活動の場面ごとに標準的なマニュアルが整備され、一人ひとりの発達への記録が細かく記載されている。 ・パート職員が研修会や職員会に参加できない時は、回覧等で伝達するなど、全職員が、園児一人ひとりの発達の状況・保育目標・健康管理面等の記録に、バラツキが生じないように努めている。 	
---	--

- 3 サービスの開始・継続

- 3 (1)	サービス提供の開始が適切に行われている。
- 3 (1)	利用希望者に対してサービスの選択に必要な情報を提供している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市作成の「入園のしおり」で保護者に説明し、安心して子どもが預けられる保育所を目標に掲げ、職員一丸となって対応している。 ・ホームページなどで情報提供しているが、あまり積極的とはいえない。 	
- 3 (1)	サービスの開始にあたり、利用者等に説明し同意を得ている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の「延長保育を希望される方へ」というパンフレットがあり、利用料金等が詳細に明記されている。 ・入園前の受付や健康診断・体験入学時を利用し、保護者に対し理解しやすいように説明のうえ同意を得ている。 	
- 3 (2)	サービスの継続性に配慮した対応が行われている。
- 3 (2)	事業所の変更や家庭への移行などにあたりサービスの継続性に配慮した対応を行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育所の転園・卒園児の対応については、市で統一されており、申し送り文書に詳細に記入し、保育所や小学校等に送付している。転園の際には、保育の継続性に配慮した引き継ぎを転園先に知らせ、退園・小学校入学児童は、必要に応じ担任や園長が相談にのれるような体制づくりをしている。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大垣市作成の「入園のしおり」で保護者に説明し、安心して子どもが預けられる保育所を目標に掲げ、職員一丸となって対応している。 ・ホームページなどで情報提供しているが、あまり積極的とはいえない。 ・大垣市作成の延長保育のパンフレットがあり、利用料金等を明示している。また、入園前の受付や健康診断・体験入学を活用し、保護者等にサービス内容を説明し内容の同意を得ている。 ・保育所転園・退園・卒園の場合も、保育の継続性に配慮した引き継ぎを実施、その後も気軽に相談できる体制づくりをするなど、地域に開かれた保育所づくりに努めている。 	
---	--

- 4 サービス実施計画の策定

- 4 (1)	利用者のアセスメントが行われている。
- 4 (1)	定められた手順に従ってアセスメントを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの身体状況や生活状況は、市が定めた様式により評価し、指導要録や健康診断票(眼科、歯科)に詳細に記録され、保育委員会や検討委員会で年4期に分け定期的に内容の見直しをしている。 	
- 4 (1)	利用者の課題を個別のサービス場面ごとに明示している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとりの子どもの課題や問題点を明示し、指導者は問題点について、援助・配慮・改善のサイクルで共通理解を図っている。 	
- 4 (2)	利用者に対するサービス実施計画が策定されている。
- 4 (2)	サービス実施計画を適切に策定している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども一人ひとりのニーズ、問題点を把握した指導計画が策定され、個別記録表を目安にチェックし、問題点や改善点を保育計画に組み込み、サービスの向上に努めている。 ・全職員が職員会で見直しをしているが、互いに意見交換しながら進めるゆとりがもてないときもあるので、この機会に見直しを検討されたい。 	
- 4 (2)	定期的にサービス実施計画の評価・見直しを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・クラスごとの年間保育計画の評価をし、園長と主任が加わり見直している。 ・子どもの発達をより望ましいものにするよう年度ごとのサイクルで、問題解決の手順に従い検討している。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児の身体的状況や生活状況については大垣市統一の様式に記載、定期的に保育委員会や検討委員会、職員会で内容の見直しをしている。 ・子ども一人ひとりに着目した指導計画となるように努め、職員会で見直しを図っているが、討議検討する時間のとり方を今後の課題として検討されたい。 ・前年度の保育指導計画の評価見直しを行ない、翌年度に反映できるよう常に共有化している。 	
--	--

5 サービス評価項目

A - 1 子どもの発達援助

1-(1)	発達援助の基本
A-1(1)	保育計画が、保育の基本指針に基づき、さらに地域の実態や保護者の意向等を考慮して作成されている。
評価結果 A	
・ 保育の基本方針に基づいた保育計画が作成されており、保育目標や保育の内容が月齢及び年齢別に、養護・教育・食育と記載されている。	
・ 週案には大垣市幼児教育指導の方針の中から、園経営全体構想や学級経営案が作成されている。	
A-1(1)	指導計画の評価を定期的に行い、その結果に基づき、指導計画を改定している。
評価結果 B	
・ 指導計画は、週案に添付され朱書きで改善点など記載されている。	

総合評価 A	
・ 保育の基本方針に基づいた保育計画が作成されている。	
・ 指導計画は、週案に添付され朱書きで改善点など記載されている。	

1-(2)	健康管理・食事
A-1(2)	登所時や保育中の子どもの健康管理は、マニュアルなどがあり子ども一人ひとりの健康状態に応じて実施している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの健康状態は、登園時に保護者からの連絡、視診、触診により把握し、各クラスで健康観察のチェックシート（項目は発熱、咳、くしゃみ、薬等）に記録されている。 ・薬については、担任だけでなく複数担任間で確認している。 ・毎日健康チェックを実施しているので、健康管理のマニュアルを整備されたい。 	
A-1(2)	健康診断の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康診断の結果は、児童票に記録され、誰が見ても分かるようになっているが、さらに見やすいように符箋等を付けられたい。 ・健診結果を保護者に伝えるときに、園医からの指示などを伝達している。 	
A-1(2)	歯科検診の結果について、保護者や職員に伝達し、それを保育に反映させている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・歯科健診、週1回フッ化物洗口、給食後の歯みがきを実施し、むし歯予防に心がけている。 ・健診結果は、文章で保護者に伝えられている。 ・いちばんむし歯になりやすい時期なので、年1回専門家による指導を検討されたい。 	
A-1(2)	感染症発生時に対応できるマニュアルがあり、発生状況を保護者、全職員に通知している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・インフルエンザ等の感染症に対しては、保護者にも分かりやすいように部屋や出入り口に掲示し、予防対策を実施している。 ・感染症に関するマニュアルはあるが、文章が長いようなので必要なものを抜粋するなどし、各部屋に置くことなど整備されたい。 	
A-1(2)	アレルギー疾患を持つ子どもに対し、専門医からの指示を得て、適切な対応を行っている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・4月にアレルギー調査はされ、毎月、園長や担任、調理員、保護者、かかりつけ医師の指導のもとで打ち合わせし適切に対応している。 ・万が一に備えて、緊急時の受け入れ先なども含めて、全職員に周知されたい。 	

A - 1 (2)	子どもの喫食状況を把握するなどして、献立の作成・調理の工夫に活かしている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 離乳食は、園児一人ひとりに合わせ調理し、提供されている。 ・ 子どもの食べる量や食べやすい食材の切り方など配慮されている。 	
A - 1 (2)	食事を楽しむことができる工夫をしている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 訪問調査日においても、落ち着いて楽しく食事をとっている様子が確認できた。 ・ 園児が、園庭等で育てた野菜を調理に使用し、調理することで食べ物への関心を持つように工夫されている。 ・ 園児が、配膳や後片付けなどに参加できるよう検討されたい。 	
A - 1 (2)	子どもの食生活を充実させるために家庭と連携している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 給食のサンプルが提示され、保護者に食事の重要性が伝えられている。また、3歳のみであるが試食会を行ない、保護者に対して保育園での味付けや食べ方等の配慮をしていることを知らせている。 	

<p>総合評価 A</p>	
<ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもの健康状態は、登園時に保護者からの連絡、視診、触診により把握し、各クラスで健康観察のチェックシートに記録されている。 ・ 健康管理のマニュアルを整備されたい。 ・ 健康診断の結果は、児童票に記録され、誰が見ても分かるようになっているが、さらに見やすいように符箋等を付けられたい。 ・ 健診結果を保護者に伝えるときに、園医からの指示などを伝達している。 ・ 離乳食は、園児一人ひとりに合わせ調理し、提供されている。 ・ 子どもの食べる量や食べやすい食材の切り方など配慮されている。 ・ 訪問調査日においても、落ち着いて楽しく食事をとっている様子が確認できた。 ・ 園児が、配膳や後片付けなどに参加できるよう検討されたい。 ・ 給食のサンプルが提示され、保護者に食事の重要性が伝えられている。 ・ 3歳のみであるが試食会を行ない、保護者に対して保育園での味付けや食べ方等の配慮をしていることを知らせている。 	

1-(3)	保育環境
A-1(3)	子どもが心地よく過ごすことのできる環境を整備している。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児、1歳児、2歳児室には畳があり、年齢に合わせて利用しやすいように配慮されている。 ・遊具の点検や砂場の消毒も実施されている。 ・廊下にベビーカー等が置いてあり、狭く感じたので整理整頓されたい。 	
A-1(3)	生活の場にふさわしい環境とする取り組みを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育室や玄関、廊下には、自然物を利用し作成した物があったり、園児の作品を掲示し、生活の場にふさわしい環境とする配慮がされている。 ・廊下が狭いので、雨天時は遊戯室を各年齢に分けて使用し、遊びのスペースとして活用できていることが確認できた。 	

<p>総合評価 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児、1歳児、2歳児室には畳があり、年齢に合わせて利用しやすいように配慮されている。 ・遊具の点検や砂場の消毒も実施されている。 ・廊下にベビーカー等が置いてあり、狭く感じたので整理整頓されたい。 ・保育室や玄関、廊下には、園児の作品を掲示し生活の場にふさわしい環境とする配慮がされている。 ・どの園児も明るく、活発な様子が見え、また落ち着きもみられた。 	
--	--

1-(4)	保育内容
A-1(4)	子ども一人ひとりへの理解を深め、受容しようと努めている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園児一人ひとりの理解を深めるように努めていることが、週案で確認できた。 ・どの園児も明るく、活発な様子うかがえ、また落ち着きもみられた。 	
A-1(4)	基本的な生活習慣や生理現象に関しては、一人ひとりの子どもの状況に応じて対応している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・児童票に、一人ひとり発達段階をよく考慮したことが記載されていて、基本的な生活習慣の確立に取り組まれている。 	
A-1(4)	子どもが自発的に活動できる環境が整備されている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週案で具体的な活動が確認できた。 ・狭い園庭を有効に使用できるように、時間を割り振り、各年齢が充実して遊べるように配慮されている。週1回でも5歳と3歳とか、他の年齢でも組み合わせさせて遊ぶ機会も検討されたい。 	
A-1(4)	身近な自然や社会と関われるような取り組みがなされている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市の中心部ではあるが、園の横には川があり、四季折々自然にふれることができる環境の中で、その取り組みもなされている。また、公共施設や名所にも囲まれているため、社会体験が得られる機会もつくられている。 	
A-1(4)	様々な表現活動が自由に体験できるように配慮されている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各部屋や廊下等に子どもの作品が掲示してあり、子どもの作品が保育に活かされている。 ・子どもが自発的に活動し、自由に遊べるように配慮されている。 ・リトミックの専門講師により、発達に応じた指導が受けられ、いろいろな表現遊びができるよう取り組まれている。 	

A - 1 (4)	遊びや生活を通して人間関係が育つよう配慮している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・年齢にあった当番や係りなどの活動を取り入れ、責任をもたせる取り組みなどが実践されている。 ・異年齢の交流は、毎日の生活の中で行なわれている。 	
A - 1 (4)	子どもの人権に十分配慮するとともに、文化の違いを認め、互いに尊重する心を育てるように配慮している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各年齢において、保育計画のなかに子どもの人権に十分配慮して、計画され実践されているように思われる。 	
A - 1 (4)	性差への先入観による固定的な観念や役割分業意識を植え付けないように配慮している。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・性差については、日常の保育のなかで先入観による保育はされていない。トイレのサンダルの色が青、黄、ピンク色などあり、細かい点にも配慮されている。 	
A - 1 (4)	乳児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・乳児保育用のマニュアルはないが、連絡帳に睡眠時間など毎日の記録が明記されて、保護者にも報告されている。また、保護者からの相談も記入できうまく活用されている。 ・1歳児は保育室点検票があり、安全や清潔に心掛け、安心して過ごせるように配慮されている。 ・今後は、さらにサービス内容を充実させるため、職員間での連絡体制を整備し、マニュアル化を進められたい。 	
A - 1 (4)	長時間にわたる保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・園での子どもの状況については、担任から長時間担当の先生が、口頭や連絡票の両面で保護者に正確に伝えるようにしている。朝は保護者からの伝言を、早朝担当の先生が担任に口頭や連絡票の両面で正確に伝えるようにしている。 ・延長保育では、異年齢保育で家庭的な雰囲気、安心して過ごせるような配慮がなされている。 	

A - 1 (4)	障害児保育のための環境が整備され、保育の内容や方法に配慮が見られる。
-----------	------------------------------------

評価結果 A

- ・ 障害児保育の指定園ではない。
- ・ 特別支援を要する園児に対して、職員会で話し合い、職員全員が周知し、専門機関との連絡や指導を受け、保育できるよう心がけている。

総合評価 A

- ・ 児童票には、一人ひとりの発達段階をよく考慮したことが記載されていて、基本的な生活習慣の確立に取り組まれている。
- ・ 狭い園庭を有効に使用できるように、時間を割り振りして各年齢が遊べるように配慮されている。
- ・ 週1回、他の年齢でも組み合わせで遊ぶ機会も検討されたい。
- ・ 市の中心部ではあるが、園の横には川があり、四季折々自然にふれることができる環境の中で、その取り組みもなされている。また、公共施設や名所にも囲まれているため、社会体験が得られる機会もつられている。
- ・ 年齢にあった当番や係りなどの活動を取り入れ、責任をもたせる取り組みなどが実践されている。
- ・ 異年齢の交流は、毎日の生活の中で行われている。
- ・ 乳児保育用のマニュアル化の整備を検討されたい。
- ・ 連絡帳に睡眠時間など毎日の記録が明記されて、保護者にも報告されている。
- ・ さらにサービス内容を充実させるため、職員間での連絡体制の整備をされたい。

A - 2 子育て支援

2-(1)	入所児童の保護者の育児支援
A-2(1)	一人ひとりの保護者と日常的な情報交換に加え、個別相談などを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の際の連絡は、連絡帳やメモにとって情報交換を行なっている。連絡帳は詳細に記載されており、保護者からの相談に応じている。 	
A-2(1)	家庭の状況や保護者との情報交換の内容が必要に応じて記録されている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・家庭状況や保護者との情報交換の内容は、週案や担任の個人ノートに記載されているが、記録のバラツキがあるようなので、書類の整備と情報の共有化の検討をされたい。 	
A-2(1)	子どもの発達や育児などについて、懇談会などの話し合いの場に加えて、保護者と共通理解を得るための機会を設けている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・懇談会での話し合いの場を設けるとともに、保護者の保育参加で子どもたちに直接ふれあい、共通理解を得るための機会をつくっている。また、子育て相談も気楽にできるように配慮されている。 	
A-2(1)	虐待を受けていると疑われる子どもの早期発見に努め、得られた情報が速やかに保育所長まで届く体制になっている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毎日の保育により、子どもの体や家庭での様子等を観察し、早期発見に努めているので、園でのマニュアル化に向けて検討されたい。 	

A-2(1)	虐待を受けていると疑われる子どもの保護者への対応について、子ども相談所などの関係機関に照会、通告を行う体制が整っている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・虐待の事例はない。疑わしい時には主任保育士と園長に相談し、市からのマニュアルに従って関係機関に連絡する体制がとられている。 	
A-2(1)	一時保育は、一人ひとりの子どもの心身の状態を考慮し、通常保育との関連を配慮しながら行っている。
<p>評価結果 -</p> <ul style="list-style-type: none"> ・一時保育は行っていない 	

<p>総合評価 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・送迎時の際の連絡は、連絡帳やメモにとって情報交換を行なっている。 ・連絡帳は詳細に記載されており、保護者からの相談に応じている。 ・家庭状況や保護者との情報交換の内容は、週案や担任の個人ノートに記載されているが、記録のバラツキがあるようなので、書類の整備と情報の共有化の検討をされたい。 ・懇談会での話し合いの場を設けるとともに、保護者の保育参加で子どもたちに直接ふれあい、共通理解を得るための機会をつくっている。 ・子育て相談も気軽にできるように配慮されている。 ・毎日の保育により、子どもの身体や家庭での様子等を観察し、早期発見に努めているので、園でのマニュアル化に向けて検討されたい。 	
---	--

A - 3 運営管理

3-(1)	安全・衛生管理
A-3(1)	事故や災害の発生時に対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
<p>評価結果 B</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市から出されたマニュアルは一般職員用であるため、園独自のものを作成している。事故や災害など不測の事態発生時には、一斉メール配信で全家庭と職員に届くよう実地研修を行ない、安全安心に努めている。 ・年間避難訓練を実施し、事故や災害時に迅速に対応できるように努めている。 ・日常の小さな事故は「怪我などの記録」と処理し、週案に添付しているが、ヒヤリハットマニュアルがないので今後検討されたい。 	
A-3(1)	事故防止のためのチェックリストがあり、事故防止に向けた具体的な取り組みを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育園外活動は、必ず事前の下見をし、計画と反省を園外保育届や週案等で記録している。 ・毎週、室内外の遊具安全点検チェック表で点検し、職員会に報告されている。異常が発見された場合は即座に対応するなど、常に事故防止措置を講じるとともに、機会あるごとに保護者や子どもに安全管理の話をし、全職員で事故防止に努めている。 	
A-3(1)	食中毒の発生時に対応できるマニュアルがあり、さらにその対応方法については、全職員にも周知されている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食中毒が発生しやすい時期には、調理員と連携し衛生面の徹底を図るとともに、保護者や子どもにも掲示板等を活用し衛生管理を促している。 ・市から通達されたマニュアルに基づき、手荒いやうがい、アルペットEの消毒など、胃腸風邪や伝染性の強い症状への対応は徹底されており、日頃の予防対策も十分なされている。 	
A-3(1)	調理場、水周りなどの衛生管理は、マニュアルに基づいて適切に実施されている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・衛生管理マニュアルやチェックリストに基づき、調理場や水周りなどの衛生管理は適切に対応している。 ・園内の手洗いやうがい場所には、園児に分かりやすくイラスト入りで掲示され、衛生管理に努めている。 	

A-3(1)	不審者の侵入時などに対応できるマニュアルがあり、全職員に周知されている。
--------	--------------------------------------

評価結果 A

- ・防犯訓練計画を立て年4回実施している。訓練は子どもや近隣の状況を考慮し、そのつどさまざまな内容を想定のうえ実施され、改善すべき事項は次の訓練に反映されるなど、安全対策に努めている。

総合評価 A

- ・各種安全点検チェックリストおよび事故防止マニュアルが整備され、事故防止に努めている。また、園内の手洗いやうがい等感染症予防対策においても、水回りにイラストや文字で園児に分かりやすく表示され、衛生管理に努めている。
- ・食中毒発生時の対応、調理場、水回りの衛生管理も、マニュアルやチェックリストに沿って適切に対応している。

A - 4 個別サービス評価基準（岐阜県独自項目）

4-(1)	安全管理面でのサービス
A-4(1)	外部からの侵入に対する対応策がとられている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェンスは乗り越えられる可能性があるが、職員は常に安全管理に十分留意している。 ・市の「さわやかみまもりパトロール隊」が時々保育所をパトロールしてくれたり、近隣住民から不審者情報が寄せられるように依頼している。 ・市のメール配信により保護者に一斉メールが送信できるなど、安全対策を取っている。 	
4-(2)	保護者とのコミュニケーション
A-4(2)	保護者の保育参観を促すような工夫をしている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保育参観行事は、ほとんどが土曜日に開催されるなど、保護者が参加しやすいように努めていることから参加率も高く、保護者に好評であることがうかがえる。 ・保護者からの評価は「参加してよかった」、「子どもの姿が見られうれしかった」、「年齢ごとの発達を知ることができた」などの声が多く、園と保護者の交流の深さがうかがえた。 ・親子が喜んで保育所生活が送れるよう、全職員が一丸となって取り組んでいる姿が見られた。 	
A-4(2)	保護者会組織への活動の援助や意見交換を行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者会活動には、園長が必ず参加し、会長を中心に園内の園児の様子や園の活動内容を分かりやすく伝え、園と保護者が常にコミュニケーションをとるように努めている。 	
4-(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携
A-4(3)	保育所・幼稚園・小学校との連携した取り組みを行っている。
<p>評価結果 A</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幼保小連携活動として、近隣小学校や幼稚園と連携し、なかよし遊びや制作活動、祭りへの参加、小学校体験など年間を通して取り組んでいる。 	

総合評価A

- ・「さわやかみまもりパトロール隊」が時々パトロールしたり、近隣住民にも不審者情報が寄せられるよう依頼している。
- ・保育参観行事は、保護者が参観しやすいように、ほとんどが土曜日に開催していることから、保護者の参加率も高く、保護者の声も「参加してよかった」「子どもの姿が見られ嬉しかった」「年齢ごとの発達を知ることが出来た」等の便りが届いている。
- ・幼保小連携活動として、近隣小学校や幼稚園と連携し、なかよし遊びや制作活動、祭りへの参加、小学校体験など年間を通して取り組んでいる。